

平成28年度天皇杯受賞者受賞理由概要
農産部門

ICT管理ツールを活用した効率的な大規模水田経営の実践

○氏名又は名称 有限会社 鍋八農産（代表 八木 輝治）

○所在地 愛知県弥富市

○出品財 経営（水稲・小麦・大豆）

○受賞理由

・地域の概要

弥富市は、愛知県の西南端に位置し、木曾川を挟んで三重県に接している。名古屋市の西側20km圏内に位置し、都市部、農村部、海岸部を併せ持つ地域となっている。また、海拔ゼロメートル地帯が大きく広がる極めて平坦な地形であり、砂土の割合が高く、肥沃度の低い土壌が多い地域である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

有限会社鍋八農産は、先代の賢治氏が昭和37年に鍋田干拓に入植したことが始まりで、平成10年に法人化、輝治氏は平成18年に代表取締役就任した。平成26年産の作付面積は水稲127ha、小麦30ha、大豆21haに加え、耕起・代かき98ha、田植え123ha、収穫123haを作業受託しており、愛知県内屈指の大規模水田経営体である。

・受賞者の特色

（1）トヨタ自動車と連携した効率的な作業体制の実現

異業者交流で作業管理の課題について話をしたことがきっかけとなり、作業管理解決のためICT管理ツール「豊作計画」をトヨタ自動車と共同で開発。1日の作業計画をクラウドサービスで従業員に割り振り、従業員は作業指示やほ場位置図を確認し、作業にあたる。作業の開始、終了を現場で入力することでリアルタイムに作業内容を報告し、作業の進捗管理に役立てている。

また、それまでは農機具や資材等が乱雑に置いてあることで作業に支障を来すこともあったが、トヨタ生産方式（「見える化」「ジャストインタイム」）を採用し、農機具ごとの収納場所を決め、ネームプレートの設置や白線枠の表示をするなど整理整頓を徹底し、作業効率の向上を実現。これらの効果もあり、従業員1人あたり約23haと非常に大規模な水田を管理することが可能となった。

（2）経営の多角化による総合ビジネスの展開

加工品製造直売所「やぎさんちの台所」では、餅や赤飯、米粉ピザやシフォンケーキなど多彩な商品展開を行っており、スーパーやJA直売所などへ販売している。

また、平成27年には弥富駅前「おにぎり商店きはち」をオープン。自社生産米を使ったおにぎりやお米を販売している。

・普及性と今後の発展方向

6次産業化をさらに充実させ、「安心して任せられる作業・経営の実践」を継続しつつ、美味しさ、安心・安全、やりがい、さらなる効率化など質を追求する経営を目指す。